

# 第87回全日本ボクシング選手権大会



## 成松 圧巻の勝利 (2年ぶり7度目)

ライトウェルター級 優勝  
成松 大介 2等陸尉



表彰式後の成松2尉

### 格の違いを見せた成松2尉 東京五輪へ向け着実に前進!

金城3曹が優勝、柏崎2尉及び秋山2曹が準優勝、藤田2曹が第3位の成果を収めた。なお、成松2尉は本大会での技能賞を獲得、リオ五輪日本代表としての実力を証明した。

階級を1つ上げ、ライトウェルター級に出場した成松2尉は、2回戦から出場。準決勝まで圧倒的な試合展開で格の違いを見せた。迎えた決勝、相手は同じボクシング班で今年体育特殊技能者として入隊した秋山2曹。1Rは、秋山2曹の長身からのリーチを活かした攻撃から始まった。成松2尉は秋山2曹の出方をよく見極め、冷静に上下のパンチを使い分けポイントを獲得。対する秋山2曹もひるむことなくボディや連打で、一進一退の攻防を繰り広げた。2Rでは、ペースを掴み始めた成松2尉が、リングを大きく使いながら遠距離かつ不意急襲的な攻撃スタイルで、秋山2曹を追いつめゲームを支配していく。最終3Rでは、勝利を確信した成松2尉が、秋山2曹を巧みに制し、側面からフックを多用した攻撃を展開。見事5-0の判定で2年ぶり7度目の優勝を飾った。これでバンタム・ライト・ライトウェルター級の3階級制覇を達成し、ボクシング界における圧倒的な存在感を示す成果を挙げた。

試合後、成松2尉は、「体重を上げて臨んだ試合は不安があったが、優勝できてうれしい。今後は東京五輪で、自分の人生をかけメダル獲得を目指す。」と熱く語った。

11月23日から26日までの間、福井県産業会館で第87回全日本ボクシング選手権大会が行われた。自衛隊体育学校ボクシング班から6名出場し、成松2尉及び



渾身の左フックを狙う金城3曹

### 2連覇を達成! 実力を証明した金城3曹

ウェルター級に出場した金城3曹は、決勝戦で、巧みなフェイントからボディ及びストロートを駆使してポイントを量産。昨年のチャンピオンとして力の差を見せつけ、5-0の大差で圧倒的な勝利を収めた。2連覇を狙う上で最大のピンチは準決勝だった。相手は、高校生ながらも8冠を達成した荒本一成選手(王寺工業高校)。3-2の判定勝ちで接戦をものにした金城3曹は試合を振り返り、「準決勝が一番厳しい戦いだったが、勝ててほっとしている。下がったら負けと思った。今後は、東京五輪に向け1つ1つの試合を大切にしていきたい。」と秘めた闘志を燃やした。

### 第2位で健闘した選手



右ストロートを炸裂する秋山2曹



的確なパンチを決める柏崎2尉

### 総合成績

ライトフライ級	第2位	2等陸尉	柏崎 刀翔	石川県出身
ライト級	第3位	2等陸曹	藤田 健児	岡山県出身
ライトウェルター級	優勝	2等陸尉	成松 大介	熊本県出身
ライトウェルター級	第2位	2等陸曹	秋山 佑汰	大阪府出身
ウェルター級	優勝	3等陸曹	金城 大明	沖縄県出身

